

センサ事業戦略

常務執行役員

センサシステムズビジネスカンパニーCEO

齋藤 昇

磁気センサビジネスグループゼネラルマネージャー

Matthias Bopp

◆ センサ事業戦略

齋藤 昇

◆ 磁気センサ事業戦略

Matthias Bopp

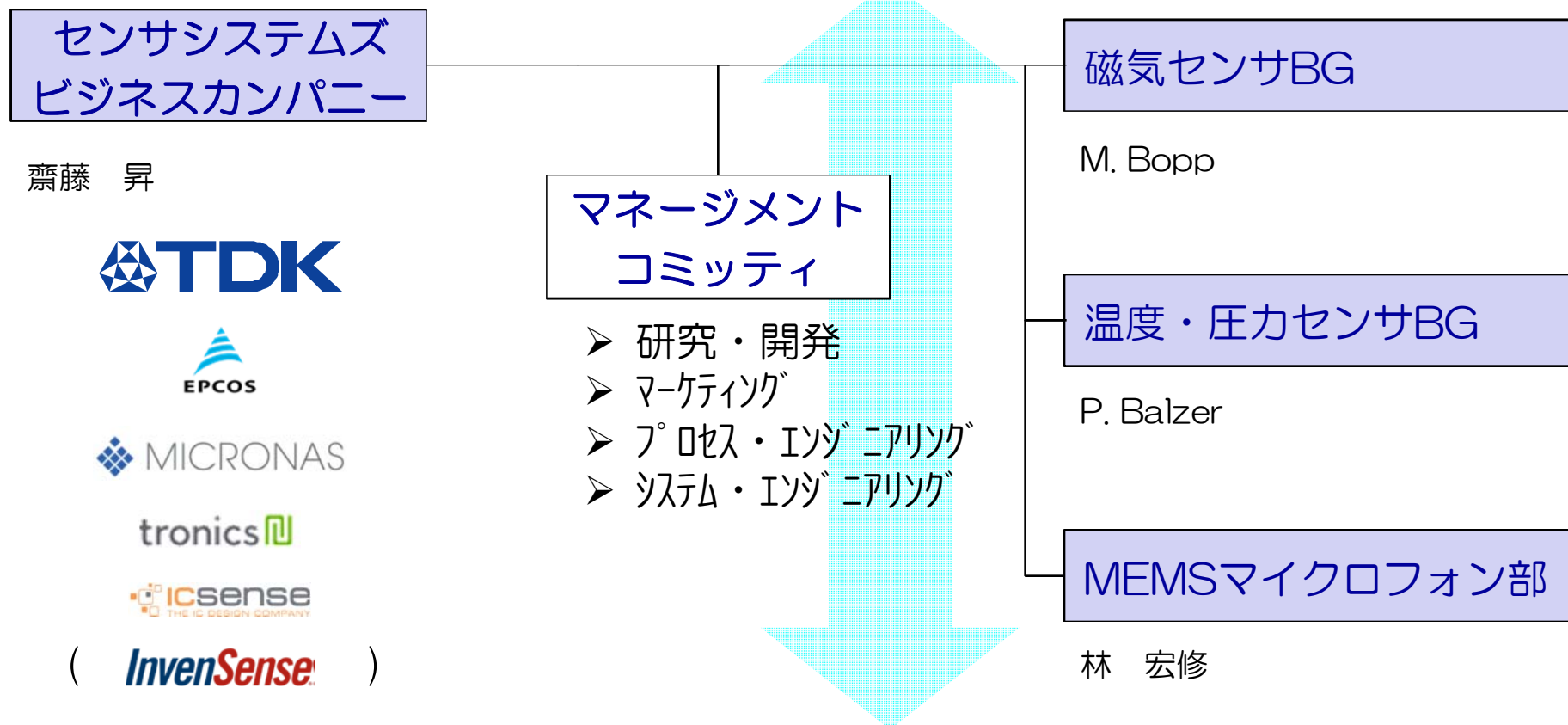
◆ センサ事業戦略

齋藤 昇

◆ 磁気センサ事業戦略

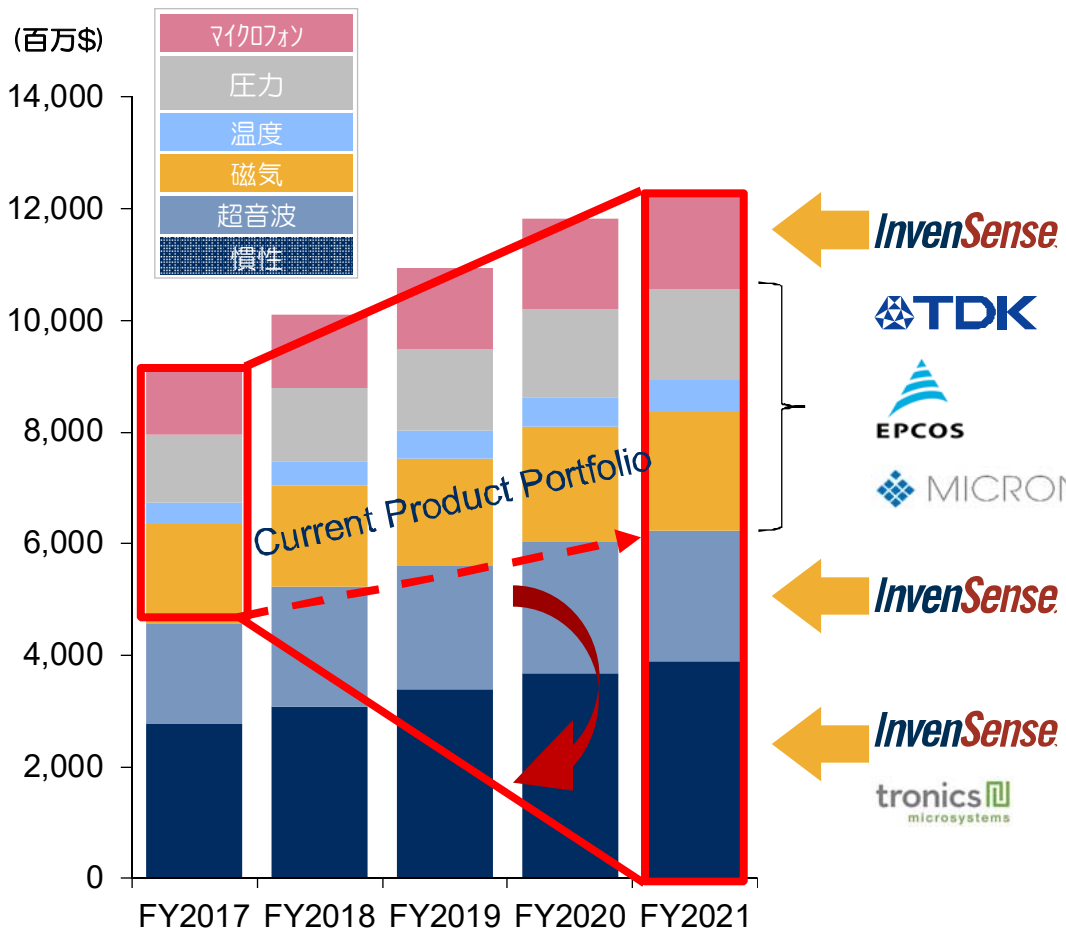
Matthias Bopp

2017年4月1日より新設

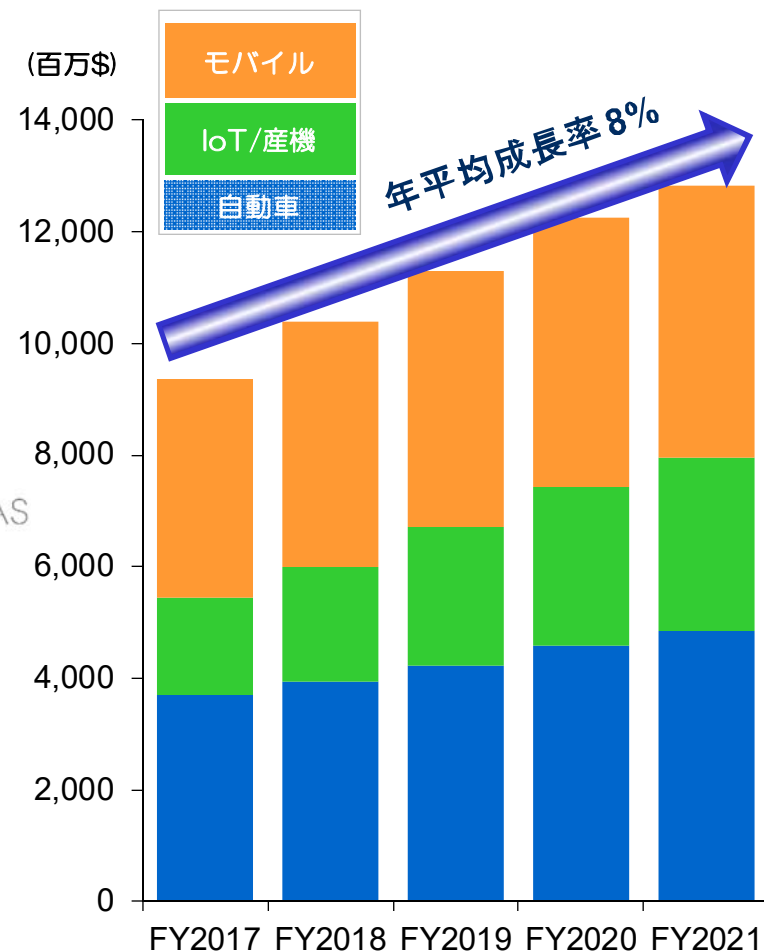


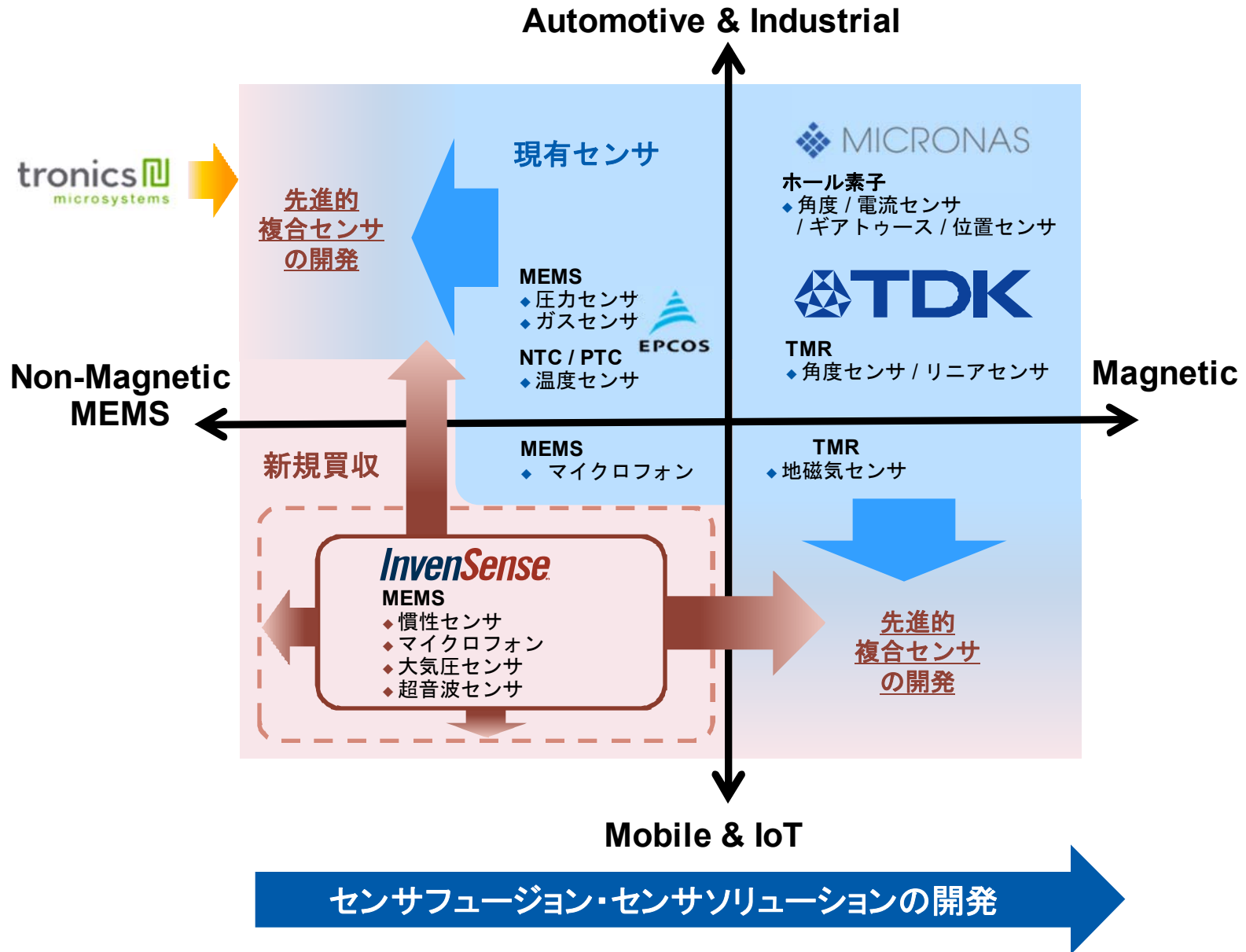
世界のセンサ需要見込み (非光学)

製品別

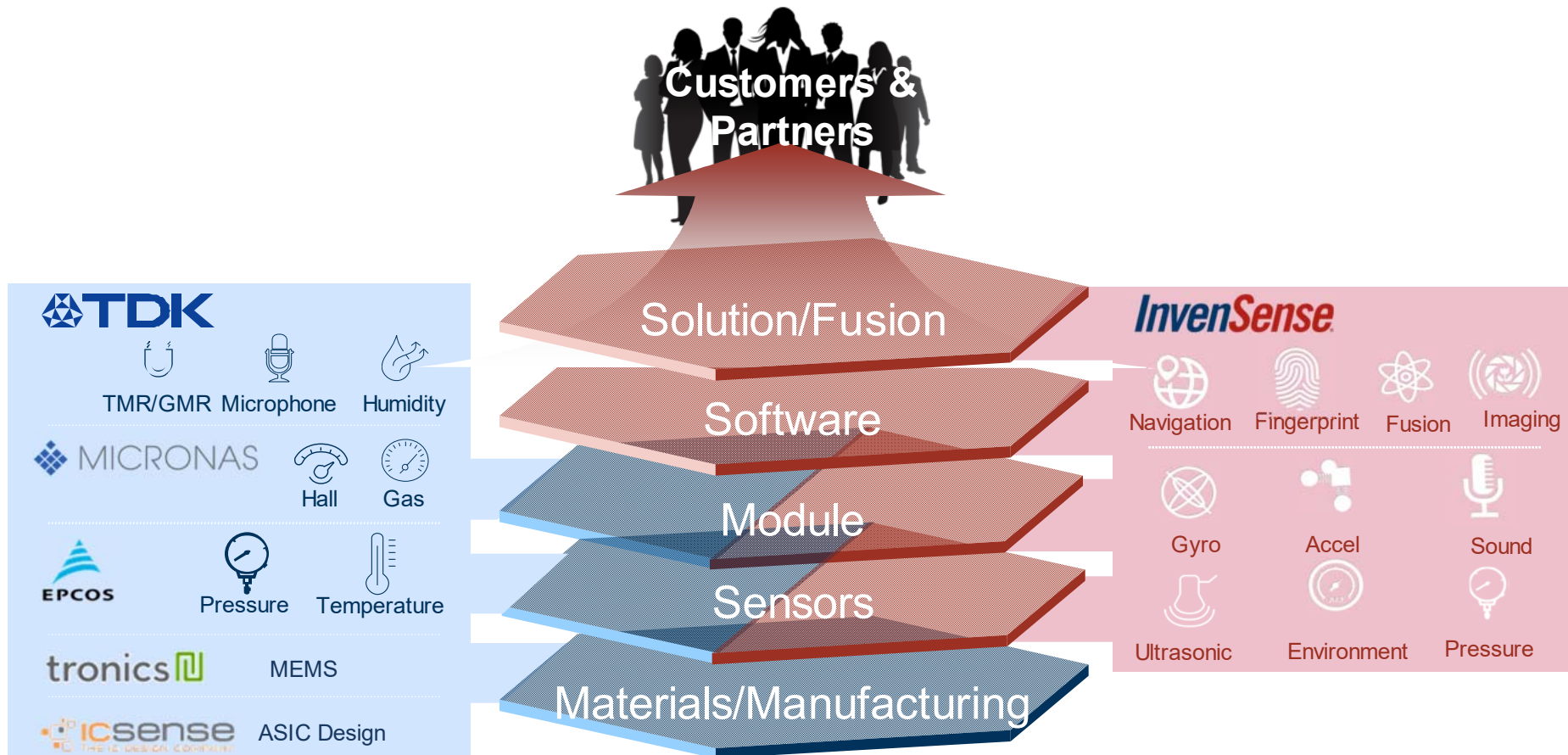


市場別

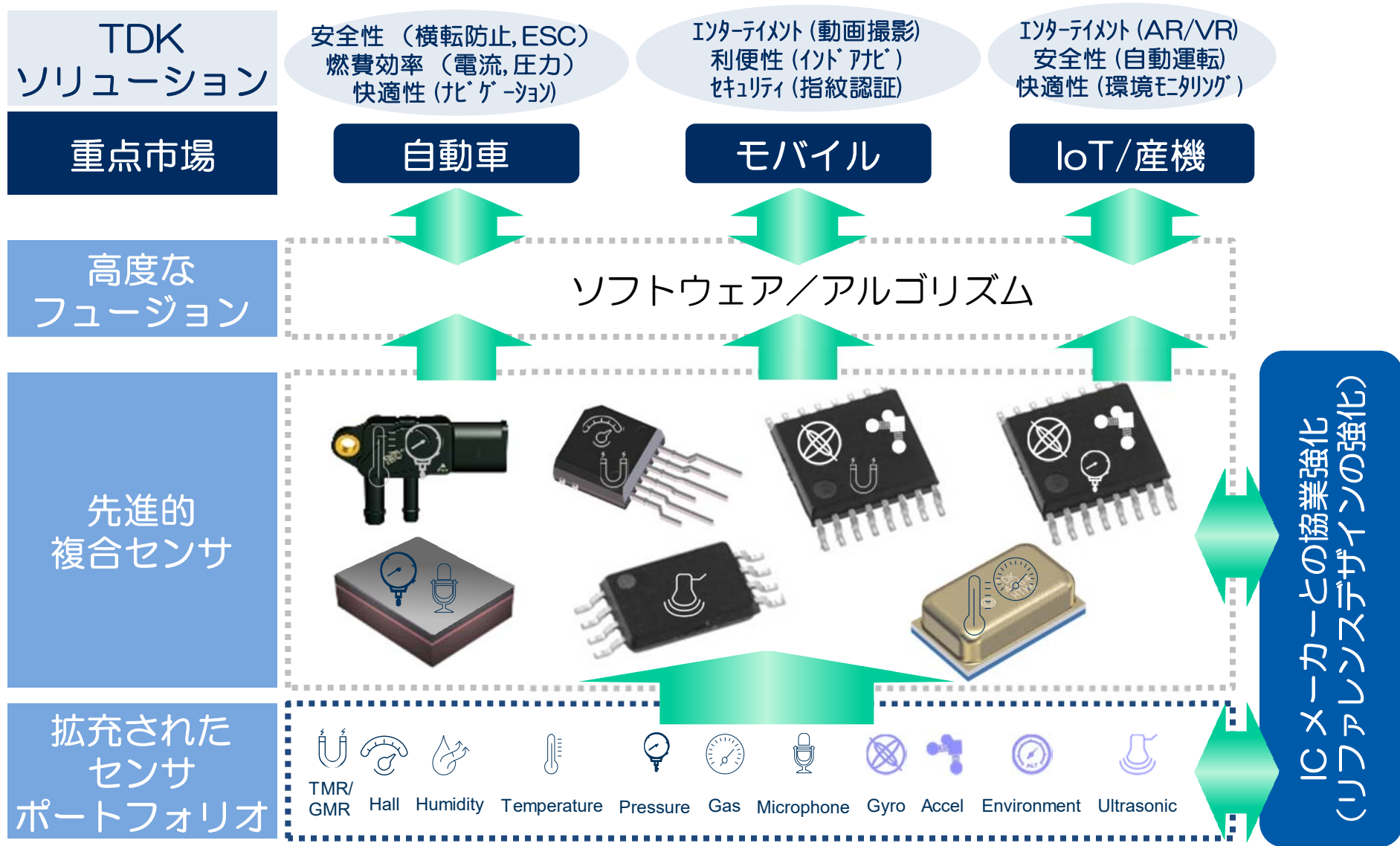




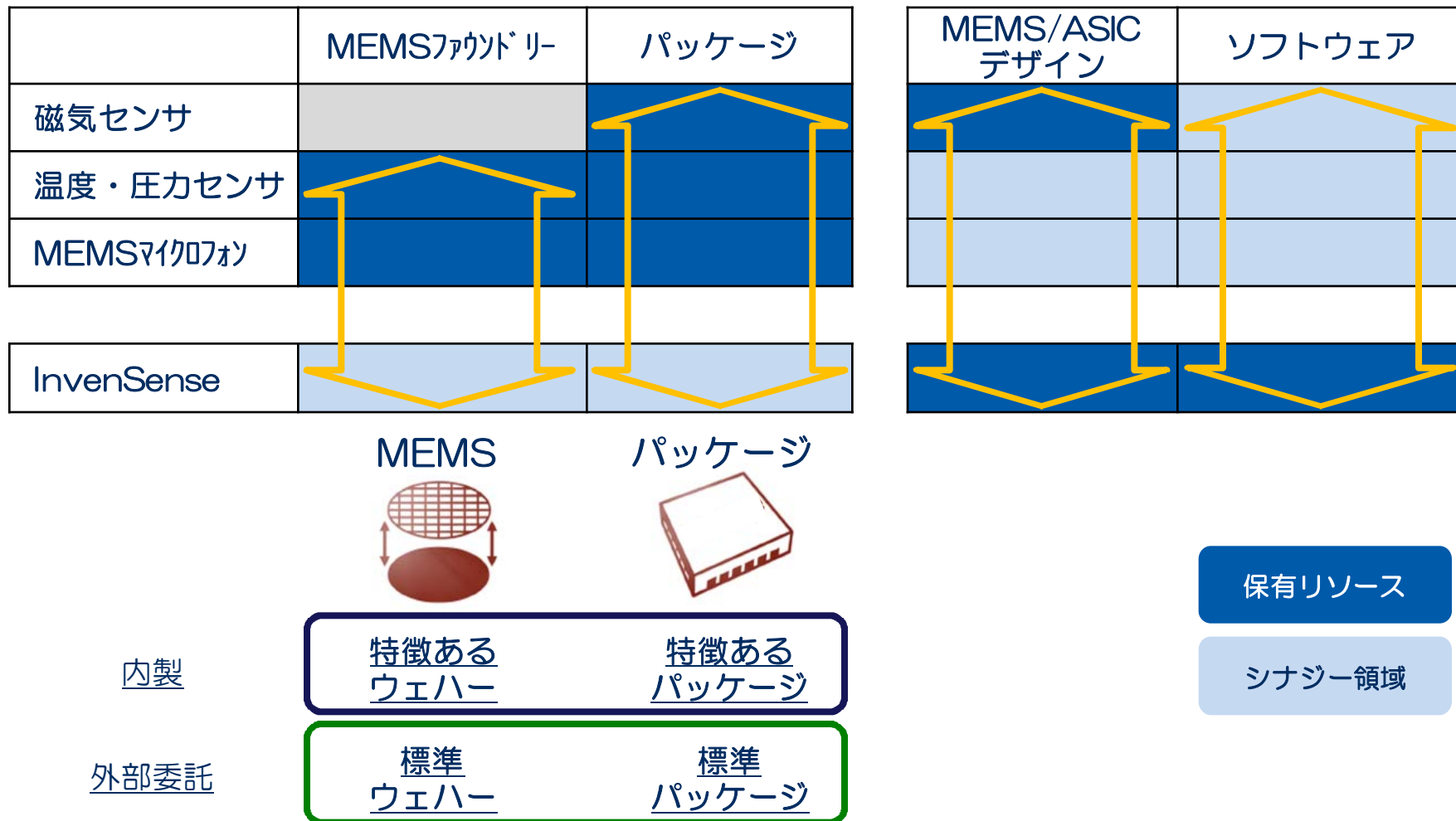
世界No.1のセンサソリューションプロバイダーへ！

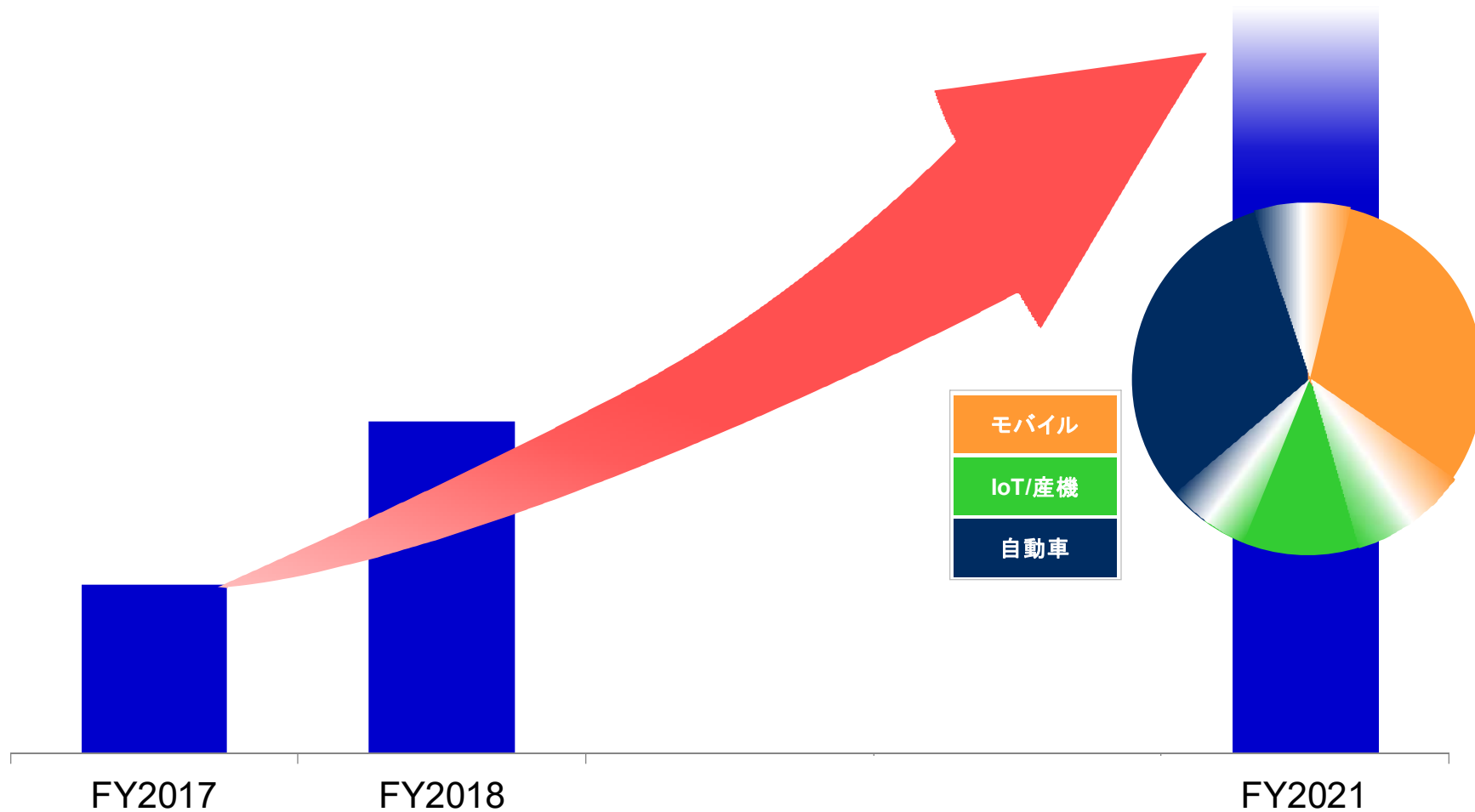


「センシングソリューションによって文化、産業に貢献する」



当社保有リソースと外部リソースをフル活用し、オペレーション効率の最大化を実現





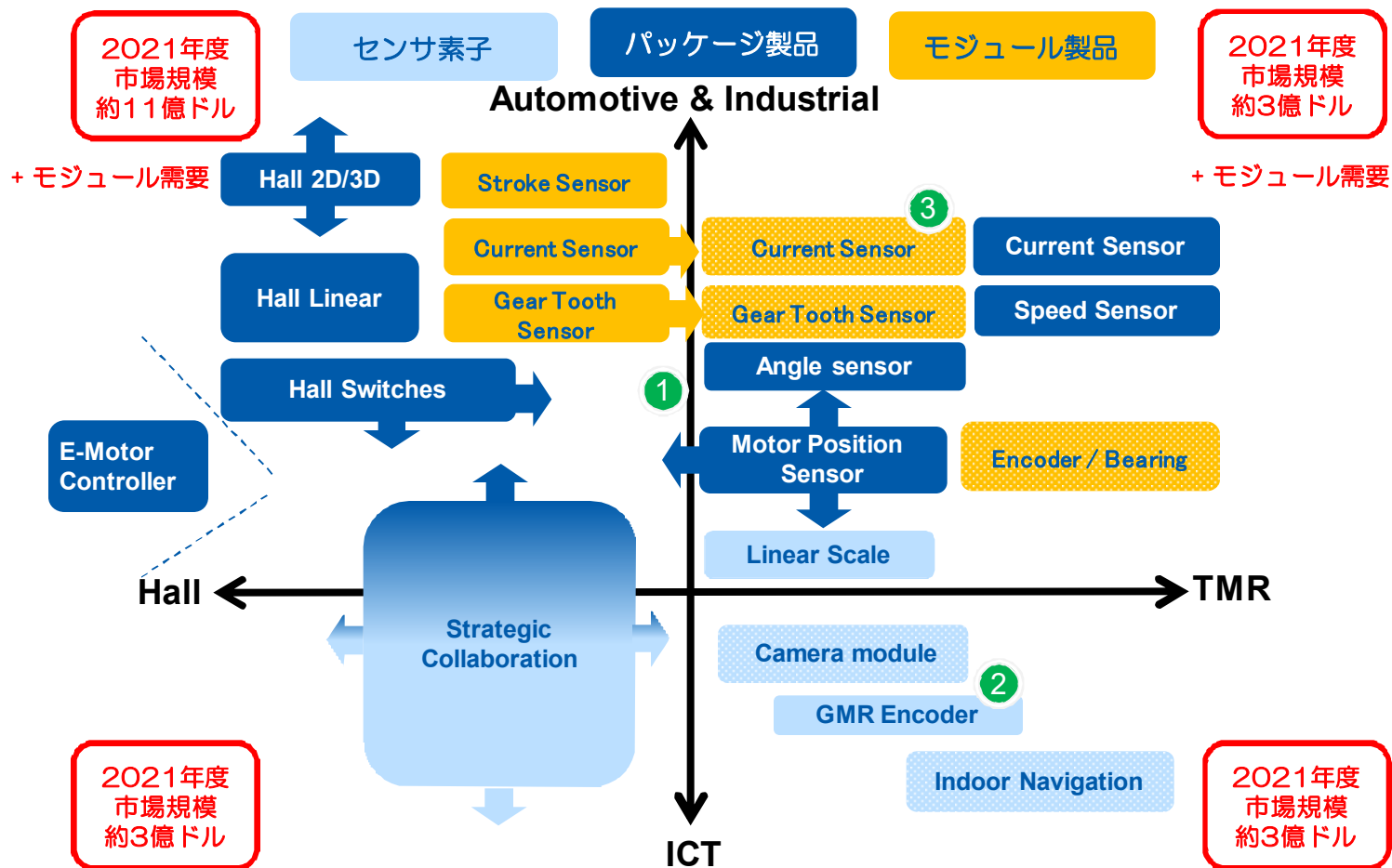
◆ センサ事業戦略

齋藤 昇

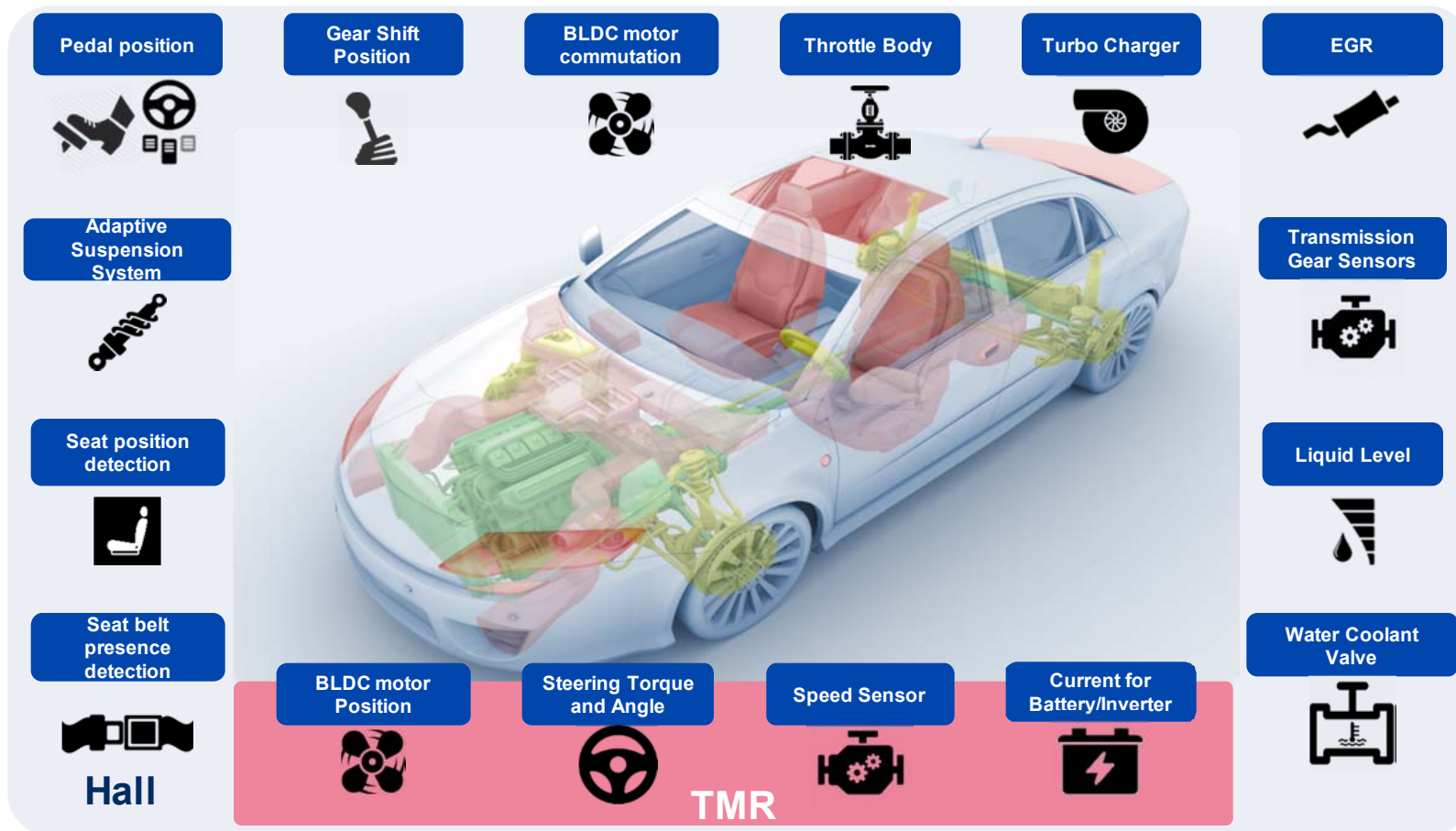
◆ 磁気センサ事業戦略

Matthias Bopp

- ① ホール素子とTMRを両方持つことで、自動車市場における事業をさらに拡大
- ② TMR技術によるICT市場の開拓と競争優位の確立
- ③ ホール素子とTMRを使ったモジュール開発による新たな市場開拓



取り込みによるASICデザイン力の強化



- ◆ 製品・技術の組み合わせにより、フレキシブルな顧客対応と新たなアプリケーションの創出が可能となる
- ◆ 長期事業戦略による幅広い新プラットフォーム開発が可能となる
- ◆ ホール素子事業の基盤により、TMRセンサの自動車市場への早期参入が可能となる
- ◆ ICTや産機市場での新たな参入機会が創出出来る

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

また、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。

